

『理科マイスター』資格認証制度を活用した教員の
専門的資質・能力を育成するための教員養成・研修の構築

調査の概要

◆課題認識

- ・小学校教員の理科に関する専門的資質・能力の習得
- ・専門的資質・能力の評価と保障の制度設計、及び養成と研修システムの構築
- ・教員養成における教科の内容と指導法を一体的に扱う科目の効果的な実施 など

◆調査研究の目的

小学校教員の理科に関する専門的資質・能力を評価・保証する「理科マイスター」資格認証制度を、山形大学と山形県・山形市教育委員会と協働して一体的に構築する。

◆調査研究の方法

質問紙（アンケート）調査

◆調査研究校・調査対象者

- ・山形県内公立小学校249校（回収率73%）
- ・山形大学小学校教諭免許取得希望学生78名

◆調査結果（現状）

- ・山形県内公立小学校理科における教科担任率（3年：25%、4年：41%、5年：64%、6年：76%）
- ・理科に関する校内研修実施率：13.3%
- ・新たな教育課題（プログラミング教育）に関する校内研修実施率：31.8%

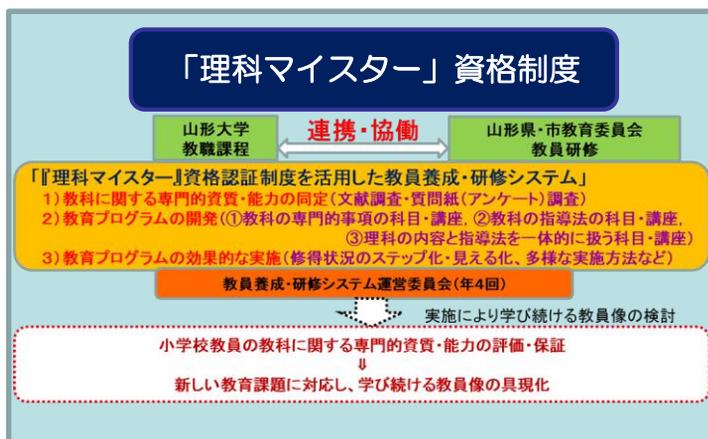
取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- 1) 小学校理科に関する資質・能力の同定
山形県の「教員指標」を参考に、2つの観点から4つの資質・能力を設定
- 2) 教育プログラムの開発
理科に関する専門的資質・能力を育成するための教科の内容と指導法を一体的に扱う科目分のみの教育プログラムを開発
- 3) 教育プログラムの実施
開発した教育プログラムを山形大学・山形県・山形市教育委員会と協働で実施

◆成果

- ① 新たな教育課題に対応する小学校教員の理科に関する専門的資質・能力を同定
- ② 「理科マイスター」資格認証制度の設計と資格を構成する教育プログラムを開発・実施
「理科マイスター」教育プログラム講座8講座（1講座あたり1単位）の実施
「理科マイスター」（初級）参加者144名、「理科マイスター」（初級）資格取得者4名
- ③ 大学と県・市教育委員会の教員養成・研修の一体化（連携・協働）の在り方・モデルを創出
山形大学の教職科目と山形市の教員研修講座の一体化を実現



今後の課題

◆「理科マイスター」教育プログラムのさらなる充実

- ・学校現場のニーズに応じた「理科マイスター」初級の教育プログラム内容を再検討
- ・「理科マイスター」中級・上級の教育プログラムを実施